

 点滴療法研究会



点滴療法研究会

年次報告書

2017
Annual report

御挨拶

ニューエイジ・メディシンの時代



会長 柳澤 厚生
Atsuo Yanagisawa, MD, FJCIT
スピッククリニック 名誉院長

2017年は点滴療法研究会が「ニューエイジ・メディシン(新しい時代の医療)の確立」を掲げた出発の年でした。そのキックオフ・イベントとして、9月にリオルダンIVCアカデミー(アジア初)を開催しました。

2017年の新たな試みとして「アンチエイジングのスペシャリストから学ぶホルモン療法」「口腔を学ぶと臨床が変わる」「動物への点滴療法・栄養療法の実践」の特別セミナーを開催し、たくさんの会員が出席されました。

海外ではフランス、韓国、フィリピン、台湾、香港の学会や研究グループとの交流が行われました。

2018年の一大イベントは4月27日～29日に東京で開催される国際オーソモレキュラー医学会(ISOM)世界大会です。点滴療法研究会は2008年よりISOMと提携、研究会の会員は自動的にISOM会員となります。

私たちは常に会員諸氏と共に歩んで参りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

研究会が目指す予防医学クリニック

事務局長 上符 正志
Masashi Uwabu, MD
銀座上符メディカルクリニック 院長



日本は世界の代表的超高齢化社会モデルですが、日々のニュースから健康な身体と精神のバランスが取れていない方が如何に多いのかが分かります。

臨床予防医学の目的は、ただ寿命を延ばすだけの延命医療ではなく、自分の意志で身体を最後まで上手に使いこなすこと、そのお手伝いをする事だと思います。自分の健康は家族の健康と同じです。病気は自分だけの問題ではなく、大切な家族の時間を奪い、老化を加速させます。近年、壮年期以降の方が、予防医学クリニックを受診される目的は、健康な身体は勿論、司令塔である脳代謝機能低下の予防です。

予防医学クリニックでは、今後更にこの問題は重要になってきます。

点滴療法研究会の役割は、より多くの臨床予防医療の専門家を育成し、最先端の予防医学知識を提供し、会員の先生方とともに普及させていくことだと考えています。

海外ボードメンバーより御挨拶

アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オーソモレキュラー医学
ニュース編集長



ビタミンC点滴療法はパイオニアであるクレナー、キャシュカート、そしてリオルダン博士らによって世界的に知られるようになりました。

点滴療法研究会会員がこの治療を広く日本国民に提供することに敬意を表します。そして、ボードメンバーとして貴会に関われることは私の名誉であり、人々の健康に関わる同志として共に歩み続けられることは大きな喜びであります。

ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー医学会会長
医学雑誌ORTHO 編集長



2017年は点滴療法研究会が10周年を迎えるという記念すべき年でした。

オーソモレキュラー医学に基づく点滴療法を広く日本国民に提供している皆様のご活躍に敬意を表します。来る2018年はライナス・ポーリング先生が“オーソモレキュラー”という言葉を提唱して50年目の年です。私は2018年を迎え、皆様の実践する点滴療法が多くの病気の予防と治療に貢献することを確信しています。

ボードメンバー

国内ボードメンバー



会長 柳澤 厚生
スピッククリニック
名誉院長



事務局長 上符 正志
銀座上符メディカル
クリニック 院長



阿部 博幸
アベ・腫瘍内科・クリニック
理事長



森 吉臣
赤坂AAクリニック
院長



水上 治
健康増進クリニック
院長



芝田 乃丞
株式会社スピック
名誉会長



澤登 雅一
三番町ごまげん
クリニック 院長



古山 登隆
自由が丘クリニック
理事長



高島 正広
高島クリニック
院長



平良 茂
ハートフルクリニック
院長



日比野 佐和子
Y&Sサイエンステクニク広尾
院長



菅野 渉平
IVC分析センター
指導監督医



新福 泰弘
インベリオクリニック
理事長



松山 淳
松山医院 本町
院長



田中 善
田中クリニック
理事長



喜多村 邦弘
喜多村クリニック
院長



有馬 征志
アステック 歯科
院長

海外ボードメンバー



イリエス・バグリ
(アルジェリア)
アルジェリアオーソモレキュラー
医学会会長



バートン・パークソン
(カナダ)
ニューメキシコ統合医療
センター所長



アイリーン・パーフォード=メイソン
(カナダ)
元トロント総合病院コナッハ
頭頸がん研究所部長



スティープン・カーター
(アメリカ)
国際オーソモレキュラー
医学会事務局長



ダミアン・ダウニング
(イギリス)
英国環境生物医学会
会長



ジェームズ・グリーンブラット
(アメリカ)
ウォルデン行動医療病院
摂食障害部門部長



ロナルド・ハニハイキ
(アメリカ)
リオルダン・クリニック
所長



スティープ・ヒッキー
(イギリス)
オーソモレキュラー
医学会編集委員



ジョン・ホップファー
(カナダ)
マギル大学
内科教授



トーマス・レヴィ
(アメリカ)
コロラドスプリングス記念病院
心臓専門医・弁護士



劉 輝雄
(台湾)
インベリオクリニック
院長



ロベルト・オルティス
(メキシコ)
メキシコオーソモレキュラー
医学会会長



ニール・リオルダン
(アメリカ)
ステムセル研究所
所長



アンドリュー・W・ソウル
(アメリカ)
オーソモレキュラー医学
ニュース編集長



ガート・E・シュートメーカー
(オランダ)
前・国際オーソモレキュラー
医学会会長
医学雑誌ORTHO 編集長



フランク・シャレンバーガー
(アメリカ)
米国オーソモレキュラー
医学会会長



ウェルマン・シュレダー
(アメリカ)
サンタフェアレルギー
環境医療センター所長



ブラッドフォード・ウィークス
(アメリカ)
ウィークス・クリニック
院長

国際活動

- 1月 【アメリカ：リノ】 7月開催のオゾン療法セミナーに向けて打ち合わせ
- 3月 【台湾：台中】 「オーソモレキュラー栄養医学ワークショップ」にて講演
- 4月 【韓国：ソウル】 韓国大韓静注医学会会長と日韓交流の打ち合わせ
【カナダ：トロント】 「第46回 国際オーソモレキュラー医学会」出席
- 5月 【アメリカ：ラスベガス】 「アメリカ オゾン療法学会」出席
- 6月 【フィリピン：マニラ】 「第1回 国際医科学ワークショップ」にて講演
- 9月 【フランス：パリ】 「第3回 ナチュラルヘルス国際会議」にて講演
- 11月 【アメリカ：サンタバーバラ】 「第2回 オゾン・フロンティア会議」出席
【香港】 香港の医学会と打ち合わせ
- 12月 【アメリカ：ラスベガス】 「第25回 アメリカアンチエイジング学会 (A4M)」出席



5月 シャキア先生と柳澤会長



6月 左からトーマス・レヴィ先生、
ホームー・リム会長、柳澤会長



9月 パリで開催された
「第3回ナチュラルヘルス
国際会議」にて

トピックス

台湾での活動

台中市で、クリニックや病院の整形外科医・皮膚科医・内科医など若い医師らが中心となって「オーソモレキュラー栄養医学ワークショップ」が開催されました。点滴療法・オーソモレキュラー医学・被曝対策・子宮頸がんワクチン後遺症の治療について講演しました。また、「台湾オーソモレキュラー医学会」の設立に伴い、「点滴療法研究会」との提携が決まりました。



台中市の医師らと交流

「オーソモレキュラー栄養医学ワークショップ」の様子



リノでの活動

2017年7月点滴療法研究会開催の日本人講師による「アメリカオゾン療法学会認定プログラム」の運営と認定試験に向けて、アメリカのネバダ州リノ市において「アメリカオゾン療法学会」のフランク・シャレンバーガー会長とミーティングを行いました。シャレンバーガー会長は、点滴療法研究会の会員が日本中でオゾン療法を広げ、またアメリカオゾン療法学会にも出席することを希望されています。



シャレンバーガー会長と日本の
トレーニングプログラム打ち合わせ

韓国での活動

点滴療法研究会のさらなる発展のため、日韓間の今後の人的交流・情報の交換・提携などについて、韓国大韓静注医学会会長と打ち合わせを行いました。



韓国ソウル市で大韓静注医学会のシーワン・チョウ会長と
今後の日韓交流の打ち合わせ

ラスベガスでの活動：アメリカ オゾン療法学会

アメリカのネバダ州ラスベガス市で開催された「アメリカオゾン療法学会」に出席。アメリカ並びに各国のオゾン療法関係者と交流することができました。そして、「トルコオゾン療法学会」副会長のルウィ・シャキア先生を、当研究会が共催する「国際オーソモレキュラー医学会 (ISOM)」2018年世界大会へ招聘しました。



ラスベガス開催 「アメリカオゾン療法学会」



マニラでの活動

フィリピンのマニラ市で開催された「国際アンチエイジング&統合医学会」には東南アジア各国より150人余りの医師が出席。ミッシェル・マニエル会長、ホームー・リム事務局長の招待で、「高濃度ビタミンC点滴のがん治療」について、「ビタミンCによる被曝障害の予防と子宮頸がんワクチン後遺症の治療」について講演しました。当研究会国際ボードメンバーのトーマス・レヴィ先生もご講演されました。

「国際アンチエイジング&統合医学会」主催
第1回 統合医療ワークショップの様子



テレビ局の撮影あり



ラスベガスでの活動：第25回アメリカアンチエイジング学会 (A4M)

点滴療法研究会(JCIT) ボードメンバーのニール・リオルダン先生、トーマス・レヴィ先生、柳澤会長、松山淳先生と2019年のA4Mの日本開催についての打ち合わせをしました。



ラスベガスで開催された
「第25回アメリカアンチエイジング学会(A4M)」の様子



一緒に出席した「点滴療法研究会」会員らとディナー

香港での活動

香港における栄養療法医学会との提携のため、香港を訪問しました。初めに「香港オーソモレキュラー医学会」の設立のため、香港の統合医療のリーダーであるリリアン・コウ博士やカナダのオーソモレキュラー医学会を支援するジンセン・ジー氏らと打ち合わせをしました。



リリアン・コウ博士(写真右)、ジンセン・ジー氏(写真右から2人目)

海外トピックス

<第46回 国際オーソモレキュラー医学会> in トロント

カナダのトロント市にある110年の歴史を持つオムニ・キング・エドワードホテルにて、当研究会が所属する「国際オーソモレキュラー医学会」第46回世界大会が開催されました。世界11カ国から208人の医師・歯科医師・ナチュロパシー、オステオパシー、医療関係者らが出席。

プログラムでは13人のスピーカーが講演。日本からは、水上治先生(健康増進クリニック)と溝口徹先生(新宿溝口クリニック)が講演されました。

水上先生の講演は「オーソモレキュラー精神医学」のセッションです。「日本におけるオーソモレキュラー精神医学」と題し、先生が永年携わってきた統合失調症、自閉症、注意欠陥症候群の治療と最新の検査について日本の現状と未来について講演されました。

溝口先生の講演は、学会創設者であるエイブラム・ホッファー先生のメモリアルレクチャーとして行われました。溝口先生は「栄養療法における血液検査データの活用」と題し、オーソモレキュラー医学に出会ったご自身の体験、そして血液検査データの解析による栄養アプローチをうつ病、統合失調、不定愁訴などの改善例を交えて講演されました。



講演される溝口先生



医学会の様子

学会2日目の夜に、恒例の晩餐会と「オーソモレキュラー医学名誉の殿堂入り」のセレモニーが行われました。第1回の殿堂入りにはノーベル賞を2回受賞したライナス・ポーリング博士など、そうそうたる医療人が名を連ねています。

2017年は健康増進クリニックの水上治先生他4人が殿堂入りされました。

点滴療法研究会は、日本における点滴療法の更なる発展・普及に向け、2018年に東京で開催されるISOM世界大会を、国際オーソモレキュラー医学会と共催することを決定しました。



殿堂入りされた水上先生

<第3回 ナチュラルヘルス国際会議> in バリ

9月30日から2日間、フランスのバリ市で「第3回ナチュラルヘルス国際会議」が開催されました。主にヨーロッパ・アフリカ各国から、医師・ホメオパシーや自然療法の医師・栄養士・薬剤師など数千人が集まりました。1,600席あるメインホールの会議場で6つのスクリーンを使って講演が行われます。また、併設する8カ所の小会議場でも栄養療法や自然療法・鍼灸・ヨガ・気功などの講義やデモが朝9時から夜10時まで行われます。併設する展示場にはサプリメント・ホメオパシー・ナチュロパシーに関わるたくさんのメーカーが集まっています。

「ビタミンC点滴」のシンポジウムにて柳澤会長は、講演の初めに、2011年3月11日に起きた東日本大震災の時にフランス国民から日本に寄せられた心からの温かい激励、そしてフランス政府が震災直後に救援部隊を、さらに原発事故直後に作業員を被爆から守るための放射線防御用品の大量支援に感謝の言葉を述べました。



「第3回 ナチュラルヘルス国際会議」



一緒に参加したメンバーと交流

続いて、原発事故後の健康に対する影響とビタミンCによる被曝障害の予防について、その理論と実際の原発作業員のデータを示しながら解説。一昨年に岡山大学が、2011年に福島県の汚染地域に住んでいた18歳以下の若者の甲状腺がん発症率が他府県の30倍にも高いことを発表した論文を紹介しました。



講演の様子

国内での活動

- 1月 14日 「ベーシックセミナーⅠ」
15日 「新春ワークショップ」
- 2月 5日 「歯科医師のための点滴療法(ベーシック)」
26日 「第3回 認知症治療研究会」講演
- 3月 5日 【会員限定】「キレーション療法認定医講習会・認定医試験」
- 4月 15日 「ベーシックセミナーⅠ」
16日 「ベーシックセミナーⅡ」
- 5月 16~17日 第105回 日本美容外科学会講演
21日 点滴療法研究会 10周年記念 特別セミナー第3弾
「アンチエイジングのスペシャリストから学ぶ ホルモン療法」
- 6月 2~4日 第17回 日本抗加齢医学会ミニセミナー講演・出展
18日 「医師と歯科医師のための実践セミナー」
- 7月 2日 「ベーシックセミナーⅠ」
16~17日 米国オゾン療法学会認定
「オゾン療法マスタートレーニングコース2日間」
30日 「第2回九州フォーラム」in 福岡
- 8月 6日 「点滴療法の基本実技講習会(入門編)」
- 9月 3日 「どうぶつへの点滴療法・栄養療法の実際」
10日 「第2回 関西フォーラム」in 大阪
23日 点滴療法研究会 10周年記念 特別セミナー第4弾
「リオルダン IVC アカデミー」
- 10月 21日 「ベーシックセミナーⅠ」
22日 「ベーシックセミナーⅡ」
- 11月 19日 【会員限定】「高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会・認定医試験」



1月 新春セミナー
良質なタンパク質豊富なヘルシー弁当



5月 特別セミナーの様子



9月 リオルダンIVCアカデミー講師の
トーマス・レヴィ先生

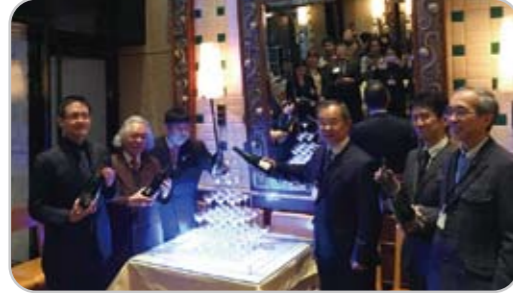


10月 協賛企業ブース

トピックス

1月 新春ワークショップ

2017年1月15日に恒例の「点滴療法研究会ワークショップ 現場から学ぶ点滴療法の技」が開催されました。このワークショップでは、マスターズクラブ会員がクリニックで実践している医療技術や症例などを発表し、互いに磨き合う、当研究会らしいワークショップです。今回は医師・歯科医師・獣医師などから発表があり、その分野は、遺伝子の先端検査から飲む点滴(生甘酒)まで幅広く発表が行われました。



セミナー後の新年会の様子



新春ワークショップセミナーの様子

6月 日本抗加齢医学会 in 東京

「日本抗加齢医学会」においてミニセミナーを行いました。タイトルは「抗加齢医学における最新の点滴療法」です。席はすぐに満席となり、立ち見が出るほど盛況でした。このセミナーを聴講された多くの方が研究会の「ベーシックセミナー」へ参加され、マスターズクラブ会員になられています。

出展ブース前での柳澤会長。



ミニセミナーの様子

9月 どうぶつへの点滴療法・栄養療法の実践

点滴療法研究会では、動物向けの栄養療法・点滴療法セミナーを開催しました。日々動物の治療・健康維持のために栄養療法を実践している獣医師だけでなく、ペットをご自身で飼われている研究会会員やコメディカルの方々にもご参加いただきました。動物も人間と同様、体と心にやさしい栄養療法の必要性が説かれました。



セミナーの様子



講師の柳澤会長・廣田先生・鈴木先生

9月 リオルダンIVCアカデミー

点滴療法研究会の10周年記念として、9月23日に「リオルダンIVCアカデミー」を開催しました。アメリカのカンザス州ウィチタ市にあるリオルダンクリニックは、ヒュー・リオルダン医師により設立され、高濃度ビタミンC点滴療法を確立したことで世界的に有名です。現在、各国で行われている高濃度ビタミンC点滴療法のがん治療臨床試験のプログラムはこのクリニックで提唱されたプロトコルが基本になっています。

リオルダンクリニックでは、2015年よりIVCアカデミーを開催しています。これは、がんやアレルギー疾患などの慢性疾患の治療における経口や点滴のビタミンC療法を、臨床医に実践的に教育し、広く普及させることを目的としています。リオルダンクリニックでの開催を皮切りに、世界5か国以上で開催されてきました。

2年前よりハニハイキ先生と打ち合わせを重ね、ようやく日本での開催にこぎ着けることができました。アジアはもちろんのこと、日本での開催は初めてです。今回はハニハイキ先生とトーマス・レヴィ先生、そして柳澤会長の3人で講師を務めることとなりました。会場には日本全国から100人余の医師・歯科医師らが集まり、全ての講演を英語から日本語へ同時通訳で行いました。

ハニハイキ先生は、高濃度ビタミンC点滴療法の歴史・最新の基礎研究成果、そしてがん治療における「リオルダンプロトコル」について詳細に解説をしました。レヴィ先生は酸化還元薬としてのビタミンCと慢性疾患、臨床現場における効果的なビタミンCの投与方法について話されました。柳澤会長は最新のビタミンC研究の動向について解説をしました。3人はこれまでに6か国以上で一緒に講演をされているので、一体感のあるアカデミー開催となりました。



セミナーの様子



セミナー講演者レヴィ先生とハニハイキ先生と柳澤会長

10年前に日本に導入された高濃度ビタミンC点滴療法は、一つの新しい時代を迎えました。近年、高濃度ビタミンC点滴療法が、がん治療として有効であるという臨床試験の結果が報告されています。結果として、高濃度ビタミンC点滴療法の位置づけが「がん治療の一つの選択肢」から、がんと診断されたら直ちに始めるべき「がん治療の基本治療」に変わりつつあります。化学療法・放射線・手術を選択した場合も、高濃度ビタミンC点滴と併用することで治療成績をより高め、QOLを維持することができます。今後、高濃度ビタミンC点滴療法への深い理解が、腫瘍専門医をはじめとする医療界に広がるよう、点滴療法研究会としても認知拡大に尽力を続けます。



セミナー参加者への修了証

2018年点滴療法研究会実践セミナー 年間予定

1月14日(日) ベルサール三田 (東京)

新春ワークショップ

点滴療法研究会マスターズ会員医師・歯科医師・獣医師10名による、診療現場での技術・治療・症例などを発表。終了後、同会場にて新年会を開催。

2月11日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

点滴療法の基本「高濃度ビタミンC点滴療法」「グルタチオン点滴療法」「マイヤーズカクテル」など点滴療法の具体的な処方と注意点を詳しく解説。セミナー受講後、点滴療法研究会マスターズクラブへご入会いただきますと、入会特典として「Q&Aサポート窓口」にて、点滴療法を導入できるようになるまでサポートします。

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
喜多村 邦弘先生 (喜多村クリニック 院長)

2月12日(月・祝) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー II

ベーシックセミナーIを学ばれた先生に是非、受講していただきたいセミナーです。Detox・IGG、栄養療法、プラセンタ、にんにく注射、αリポ酸他、最新の点滴療法に関連する栄養療法と共に深く実践的に学びます。

【講師】 澤登 雅一先生 (三番町ごきげんクリニック 院長)
松山 淳先生 (松山医院 院長)

3月11日(日) ベルサール三田 (東京) 【会員限定】

キレーション療法認定医講習会・認定医試験

キレーション療法は心臓病や動脈硬化の治療、環境汚染や食品添加物に対するデトックス療法として注目されている点滴療法です。本講習の受講及び所定教材(動画付)にて事前学習することにより認定試験の受験資格が得られます。

【講師】 上符 正志先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
澤登 雅一先生 (三番町ごきげんクリニック 院長)

5月13日(日) ベルサール三田 (東京)

歯科医師のための点滴療法 (ベーシック)

歯科治療における点滴療法の必要性和可能性、明日から使えるノウハウを具体的に解説し、現場への落とし込みと「定着」を目的とします。

【講師】 新福 泰弘先生 (インペリオクリニック 理事長)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

※ベーシックI、IIとは内容が異なります。高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習・認定医試験の対象にはなりません。

6月17日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

2月11日(日)「ベーシックセミナーI」参照

7月8日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー 「アンチエイジングのスペシャリストから学ぶ ホルモン療法第2弾」

【講師】 上符 正志先生 (銀座上符メディカルクリニック 院長)
藤森 徹也先生 (オルソクリニック 院長)

7月29日(日) ベルサール三田 (東京) 【会員限定】

オゾン療法マスタートレーニングコース・認定医試験

オゾン療法を実施する上で必要な知識を網羅的に概説し、自信をもってオゾン療法に取り組み始めるようになることを目指します。基礎から実践まで学べる講習会です。本講習の受講及び所定教材(動画付)にて事前学習することにより認定医試験の受験資格が得られます。

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
松村 浩道先生 (スピッククリニック 院長)

9月2日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

「全身と口腔 腸内環境の臨床」
～医師・歯科医師・スタッフのための最新知識～

腸内細菌叢に影響を与えるのは口腔内細菌叢であるという観点に着目し、腸内フローラ研究・栄養療法などを医師と歯科医師の立場から解説します。

【講師】 田中 善先生 (田中クリニック 理事長)
有馬 征志先生 (アステック 歯科 院長)
有馬 よう子先生 (アステック 歯科 栄養医学指導師・栄養療法カウンセラー)

10月20日(土) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー I

2月11日(日)「ベーシックセミナーI」参照

10月21日(日) ベルサール三田 (東京)

ベーシックセミナー II

2月12日(月・祝)「ベーシックセミナーII」参照

10月28日(日) スピッククリニック (神奈川県・鎌倉市)

点滴療法の基礎実技講習会 (入門編)

点滴療法を導入するための準備～基本手技をオリジナルテキストや静脈模型を使用して学びます。

【講師】 柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
山口 かおる先生 (スピッククリニック 看護師長)

11月18日(日) ベルサール三田 (東京) 【会員限定】

高濃度ビタミンC点滴療法 認定医講習会・認定医試験

点滴療法研究会では、真摯に高濃度ビタミンC点滴療法を学び、正しい方法で患者に提供する為に、高濃度ビタミンC点滴療法認定医(Master of IVC Therapy)制度を設け、マスターズクラブ会員医師の質の保証をしています。本講習でビタミンCの基礎知識、リオルダンIVCプロトコル、他との併用療法など大切な基本・応用技術を学びます。

【講師】 石神 昭人先生 (東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)
澤登 雅一先生 (三番町ごきげんクリニック 院長)
松山 淳先生 (松山医院 院長)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)

12月2日(日) ベルサール三田 (東京)

獣医師のためのマイヤーズカクテル、高濃度ビタミンC点滴、 オゾン療法、栄養療法の実践

【講師】 廣田 順子先生 (アリスどうぶつクリニック 院長)
鈴木 つば美先生 (みなせ動物病院 院長)
綿貫 和彦先生 (ドリトル動物病院 院長)
岡本 芳晴先生 (鳥取大学 農学部 教授)

12月9日(日) ベルサール三田 (東京)

特別セミナー

「匠から学ぶ がん治療最前線 2018」

匠による最新のがん治療をそれぞれの観点から解説。

【講師】 田中 善先生 (田中クリニック 理事長)
西脇 俊二先生 (ハタイクリニック 院長)
杉野 三千男先生 (サンクリニック プレストケア・イムノケア 院長)
柳澤 厚生先生 (点滴療法研究会マスターズクラブ 会長)
鶴見 隆史先生 (鶴見クリニック 理事長)

2017年度 協賛企業一覧

- ・ アウトバーン株式会社
- ・ 医療法人博心厚生会・アベ腫瘍内科クリニック
- ・ 有限会社 イホコ
- ・ 株式会社 ウイスマー
- ・ 株式会社 ウェルハート
- ・ 株式会社 MSS
- ・ 協和メデックス 株式会社
- ・ 株式会社 サルベストロールジャパン
- ・ 株式会社 ステムズ
- ・ 株式会社 スピック
- ・ 有限会社 デイス・インターナショナル
- ・ 株式会社 デトックス
- ・ 西本貿易 株式会社 ナチュメディカ事業グループ
- ・ 日本ダグラスラボラトリーズ 株式会社
- ・ 株式会社 ビーアンドエス・コーポレーション
- ・ 株式会社 ビーエス
- ・ 株式会社 First Health Japan
- ・ プレミアライン 株式会社
- ・ 株式会社 分子生理化学研究所
- ・ 株式会社 メディブリーム
- ・ 一般社団法人 臨床水素治療研究会
- ・ レネロファーマ 株式会社

(五十音順)

飲むビタミンC点滴
リポ-カプセルビタミンC
リポソームビタミンCサプリメント

株式会社スピック 医療事業部
TEL: 0467-23-8161
Mail: med_info@spic.org
(営業時間: 平日10:00~17:00)

- メディカルサプリメントの販売
- 市民医療講座の開催とサポート
- メディカルディレクターの認定と育成
- 自由診療導入の経営指導

点滴療法の効果をより高めるために
生まれた点滴療法研究会
推奨サプリメントシリーズ

医療機関で使用するためにふさわしい
安全で高品質、高配合のサプリメントを
ご提供します。

お問い合わせ 西本貿易株式会社 ナチュメディカ事業グループ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング4階
☎ 0120-814-585 受付9:00~17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く) NATUMEDICA

Salvestrol サルベストロール

点滴療法研究会 柳澤会長 推奨サプリ

- あらゆる癌治療・予防法と併用可。VC点滴療法のサポートにも!
- オーガニック果物抽出物でカラダにやさしい。

お問合せ 株式会社サルベストロールジャパン
TEL: (03) 6450-2406 (平日9:30-17:30)
MAIL: info@salvestrol.co.jp

インターネットからも資料閲覧・購入可。www.salvestrol.co.jp

がん治療における転移と再発
阻止への取り組み

循環腫瘍細胞CTC検査

- がんCTC、CSCに最も殺菌効果があった天然成分、抗がん剤の報告
- 最も効果があった分子標的剤の報告
- 放射線、温熱治療の可否の報告
- 身体に優しい天然成分による治療のプロトコル作成

株式会社デトックス 〒102-0085 東京都千代田区六本樹5-18六本樹ステートビル1F
Tel.03-5676-4511 Fax.03-3222-9770 http://www.detox.jp

ウェルハート 海外医療機器・医薬品の輸入代行

血液オゾン療法 ヒトプラセンタ製剤

ポツリヌス毒素A型製剤、麻酔クリーム、ダイエット薬、脂肪溶解剤、毛髪薬剤、ヒアルロン酸、各種針、ほか多数

TEL: 03-5276-6071 FAX: 03-5276-6085
E-mail: sales@well-heart.co.jp

～永遠の笑顔をテーマに～
RENELO レネロファーマ株式会社

医薬品卸売・医薬品製造販売・医療機器製造 医療機器製造販売

オゾン発生機 basic Plus
オゾンバス REFOBATH

点滴療法研究会 2017年 年次報告書

発行: 点滴療法研究会事務局

有限会社メディカルリサーチ 21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-11-2 II-201

TEL: 03-6277-3318 FAX: 03-6277-4004